

株主メモ

決算期 毎年9月30日
定時株主総会 毎年12月に開催いたします。
基準日 定時株主総会については9月30日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日 9月30日および中間配当金の支払いを行うときは3月31日
名義書換代理人 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 〒171-8508東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
(郵便物送付先) 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先) TEL (03) 5391-7680 (代表)
同取次所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞 日本経済新聞

(届出諸事項についてのお知らせ)

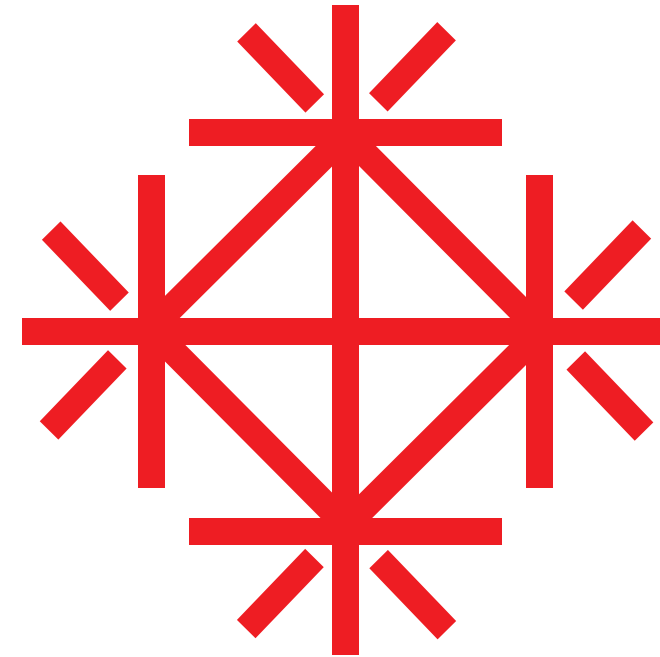
住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。

貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス

www.kitoku-shinryo.co.jp/koukoku.html

JASDAQ

証券コード: 2700



KITOKU SHINRYO

第54期事業報告書

平成13年10月1日～平成14年9月30日

木徳神糧株式会社

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

品質No.1宣言

私たちがめざす企業像

【企業価値】

木徳神糧は、お客さまのニーズに応えるとともに、「環境」とのかかわりを重視することに価値を置きます。「環境」重視とは、私たちを取り巻くすべての関係を大切にすることであり、社会と共生し、ともに成長し続けることです。

【経営理念】

1. 経営のあらゆる面で品質No.1をめざし、すべてのお客さまに対して誠意と感謝の気持ちを持って接します。
 2. 環境の変化に積極的に対応し、独創的で革新的なリーディング・カンパニーの役割を果たします。
 3. 人を生かし、活力とチャレンジ精神に満ちた、パワフルな企業であり続けます。
- 私たちはこうした理念のもと「コメをコアとした食と暮らしの提案」を積極的に行い、自らの力で市場を切り開いていきます。

マークにこめられた木徳神糧のスピリット

人が生きていくエネルギー源となる「米」。その「米」が人と人、人と社会を結び、ネットワークを形成していく...。このマークには、コメの供給を社会的使命とする木徳神糧が、消費者、取引先、株主、従業員など、あらゆるステークホルダーと良好な関係を築き上げ、限りない発展を遂げていくという、強い決意がこめられています。

株主の皆さまへ

“コメをコアとした21世紀の食と暮らしの提案”をテーマに、経営のあらゆる面で“品質NO.1”をめざしています。



代表取締役社長
木村 良

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当社第54期事業報告書をお届けするにあたりまして、日頃のご支援に対して心よりお礼申し上げます。

当期における経営環境は、遅々として進まない金融機関の不良債権処理や雇用情勢の悪化、海外でのテロ事件の影響も重なり社会的不安心理が高まるなど、非常に厳しいものでありました。さらに、消費マインドが低下していたところに発生した、一連の食品偽装表示事件の発生は、食品に対する消費者の信頼を完全に喪失させてしまいました。

このような環境のもと当社は、企業の評価は「規模」ではなく「質」で判断されるべきだと考え、主力事業領域であるコメ市場において精米技術と品質管理ノウハウをコア・コンピタンスとし競争優位に立った事業展開を行ってまいりました。当期における取り組みの詳細は後述いたしますが、主力の米穀事業では「無洗米」に重点をおいた政策を展開し、テレビコマーシャルの活用、販売促進の一層の強化に取り組み、無洗米の数量は前年同期比149.8%と大幅に増加いたしました。

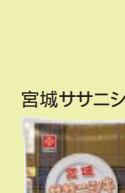
その結果、当期の連結売上高は107,855百万円（前年同期比4.6%増）となりました。損益面では外国産米の容器に含まれる鉛汚染事件などの影響により、経常利益は542百万円（同8.0%減）となりましたが、当期純利益は314百万円（同17.7%増）となり、年間での1株当りの配当金を7.5円にさせていただきましたことをご報告させていただきます。

今後も当社グループは、「コメをコアとした21世紀の食と暮らしの提案」をビジネスフィールドと定め、この分野に経営資源を集中し、経営のあらゆる面で「品質NO.1」をめざしてまいります。

TOPICS とがずに炊ける、木徳神糧の無洗米シリーズ



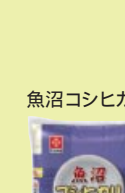
宮城ひとめぼれ



宮城ササニシキ



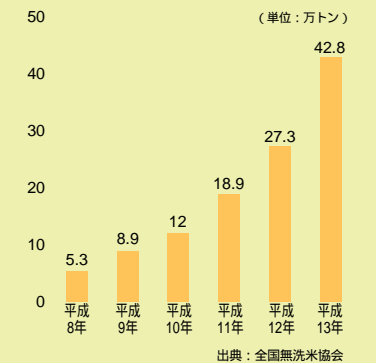
楽しきわが家



魚沼コシヒカリ

木徳神糧の無洗米シリーズは、新商品を加えて11品目にボリュームアップ。お米のおいしい部分や栄養はそのままに、「プロが研いだお米」としてテレビコマーシャルでもお馴染みとなりました。その手軽さとおいしさは、まさしく21世紀のお米革命です。

無洗米生産量推移



国内トップクラスの生産規模で お客さまのニーズに応える無洗米。

米穀事業は連結売上高の約85.1%を占める当社の主力事業です。特に精米分野における無洗米は、消費者のニーズにマッチし、販売数量は急増しております。当社グループではこの需要にいち早く対応し、自社ブランド3シリーズを擁することで販売数量を拡大し、現在では無洗米の生産規模で国内トップクラスとなっています。

外食産業においても無洗米は「おいしさ」だけでなく店舗運営における合理化のメリットが大きいことから需要の伸びが期待されています。外食産業の中食需要に占める無洗米の割合は今後増加することが予想されますので、このような市場ニーズに対応した生産体制を築くことに、積極的に取り組んでいく考えです。

当社グループにとって無洗米は付加価値の高い商品として、収益性の向上に貢献する経営上のメリットを持っています。今後は、無洗米を同質化競争から脱皮するための戦略商品として位置付け、さらなる拡販を図ってまいります。

“伝統的な米穀卸から精米メーカーへの転換”をビジョンに高収益構造展開。

環境変化の激しい今日、変化しないことは時代に取り残されていくことであると考え、当社グループは既存の枠を乗り越えた、新しい手法を用いた事業の構築を図っています。

主力の米穀事業ではさらなるシェアの拡大を、食品事業では規模・業容の拡大をめざした事業展開を行っております。

米穀事業では当期2つの子会社を解散し、新たに1社を連結対象子会社に加えました。これにより、当社グループの生産拠点は8から6拠点となり、前年対比7.5%（364百万円）の製造経費削減ができました。また、2002年1月より少量多品種専用精米工場「飛翔館」が稼働し、新商品開発体制が整うとともに、既存工場の生産性向上の基盤もできました。2002年9月には（株）大阪第一食糧と業務および資本提携を行いました。両社の米の取扱数量を合わせると業界トップクラスになります。これにより、規模の拡大によるスケールメリットを最大限に発揮することが可能となり、米穀事業のさらなるシェアの拡大に向けた体制が整いました。

また、国民の米の消費量が減少しているなかで、新規需要を創出し、新たな収益源の確保をめざした取り組みも展開しております。ITを活用

中長期経営戦略ハイライト

米穀事業

M&Aの推進や当社のノウハウを活かせるアライアンスの強化。
スケールメリットを活かしたコストの低減。
グループ生産体制の再構築による、生産性の向上。
コメに関するコンサルティング力の蓄積とプロフェッショナル化の推進。

食品事業

本社食品事業部と食品関係会社との統合や、M&Aによる業容拡大。
「健康」を切り口に商品開発体制を強化し、加工食品の取扱い拡大。

しBtoBをメインとしたe-ビジネスに参入し、新規事業として立ち上げた「米浪漫.com」は「米浪漫」ブランドを開発しました。

今後は、無洗米の拡販、付加価値型の新商品の開発に積極的に取り組むとともに、より一層のコストダウンを推進し、経営の合理化や効率化に努めることで、名実ともにNO.1の精米メーカーをめざします。

日本の食生活を支える リーディングカンパニーとして 新しい価値を創造します。

木徳神糧グループは、円滑で安定的な米流通を通して、人々の健やかな生活に貢献するという使命を与えられています。今後も「品質No.1」「独創と改革」「チャレンジ」の企業理念のもと、『旧業打破、新業構築』に挑戦し、ジャスト・イン・タイムの物流力、顧客別の要望に対応できる提案力などを強化し、品質の向上を図ることによって規模の拡大をめざしてまいります。私たちがめざす規模の拡大は、経営の質の向上とリンクしています。スケールメリットを活かしたビジネス展開により利益を拡大し、そこから得た利益を再投資して生産性の向上をめざします。そして、社員の独創的なアイデアを重視し新規ビジネスにも積極的に投資し進出していきます。こうした生産性の向上や社員のバイタリティーを推進力として、経営改革に弾みをつけ、米穀卸のリーディング・カンパニーにふさわしい強固な事業体質を創り上げたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

木村良

TOPICS

(株)大阪第一食糧と 業務および資本提携。

大阪エリアの米穀取扱数量第1位の(株)大阪第一食糧と業務および資本提携契約を締結。今後は相互補完できる立地基盤を活かし、共同仕入れ、精米工場の共同利用、品質管理手法の共有など経営資源を双方で活用していきます。なお、資本提携では(株)大阪第一食糧の発行済株式総数の5%を譲り受けました。

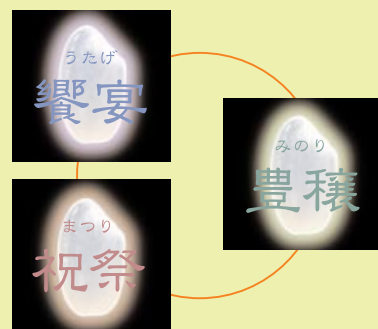
(株)大阪第一食糧 会社概要

名称：株式会社大阪第一食糧	代表者：道家一義
主な事業内容：米穀卸売	資本の額：819,150千円
設立年月日：昭和26年3月15日	従業員数：160名
本店所在地：大阪府八尾市三園町4丁目125番地	

TOPICS

お米のおいしさを追求した「米浪漫」ブランド。

一番おいしいお米が食べたい。そんなニーズにお応えする、お米のおいしさを追求したブランドが木徳神糧から登場しました。そのブランド名は「米浪漫」。「饗宴（うたげ）」、「祝祭（まつり）」、「豊穰（みのり）」の3種類をラインアップし、当社独自の評価システムにより全国の米どころから最上級の米を厳選しました。年間4万件の分析データと約1,500品目の試食によって蓄積したデータベースを活用しています。



<http://www.kome-roman.com>

TOPICS

販売促進の強化のために 多角的な広告展開を実施。

主力商品である精米商品の販売促進と社名の認知度向上を図るため、木徳神糧では積極的にマスメディアなどで広告展開を行っています。また、自社ブランド「樂しきわが家」を東京都



ラッピングバス(都営バス)

品川駅広告
内を走るラッピングバスで広告。ラッピングバスの運行を記念してプレゼントキャンペーンも実施しました。

特集 第2回 [木徳神糧の品質管理体制]

お米のおいしさは、精米技術と品質管理で決まります。

原料段階

原料玄米到着

車上検査

(未然防止としての検査)

玄米外観分析

(入荷ロットごとにサンプル採取分析) 1:白度 2:水分 3:形状品質 等



製造段階

異物完全除去

(徹底的に異物除去を行う)



精米段階

精米外観分析

(白度、水分、形状品質等の分析)



小袋詰め

食味検査

- ・官能検査
炊き上がったご飯の外観、香り、粘り、食味を実際に目で見て舌で味わう検査
- ・理化学検査
各種理化学試験と食味計による食味の判断

出荷

さまざまなニーズに対応するため、各種分析データやクレーム処理記録は品質管理データベースとして一元管理しています。



木徳神糧ではおいしいお米をお届けするため、厳重な品質管理体制を整えています。独自の品質基準に合格した原料玄米だけを使い、最先端の設備を擁する精米工場で加工。安全性と生産性を高めるためコンピュータによる集中管理システムを採用しています。また、異物の混入防止を徹底するため、生産ラインのブロック化で密閉性を高め、原料の受け入れ・保管スペースと製造加工工程などのクリーンスペースを完全に分離しています。その徹底した品質管理と優れた精米技術は、工場での見学ツアーなどで一般の方々にも公開しています。



桶川工場



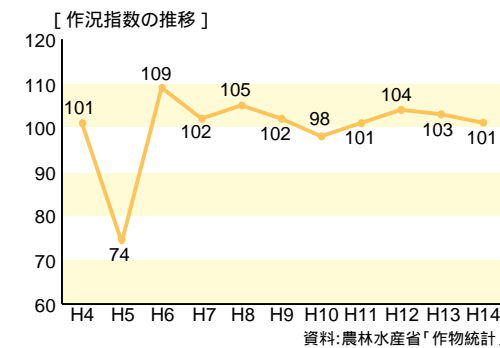
飛翔館 (少量多品種専用精米工場)

木徳神糧の旬な話題のココが知りたい!?

Q&A

Q よく作況指数という言葉聞きますが何ですか？

A 作況指数とは米の作柄の善し悪しを示す指標で、その年の10a当たりの年平均収量に対する比率で表します。正確で効率的な作柄を調べるために、毎年、都道府県ごとに水田を無作為に抽出し、水稻収穫量調査を実施。予想収穫量調査と収穫期の収穫量調査をあわせて、田植期から収穫期までの間に結果が6回公表されます。平成14年産米の作況指数は「101」(平成14年10月15日現在)で**平年並み**です。



作柄区分]

作柄	良	やや良	平年並み	やや不良	不良	著しい不良
作況指数	106以上	105～102	101～99	98～95	94～91	90以下

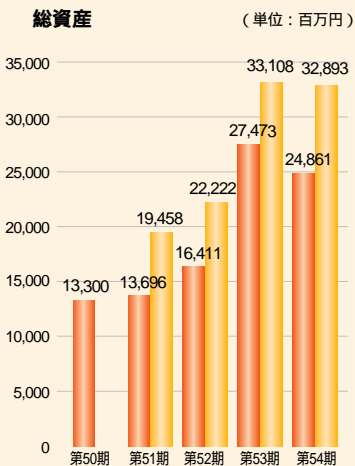
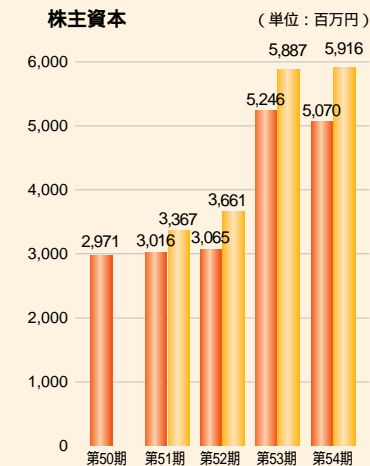
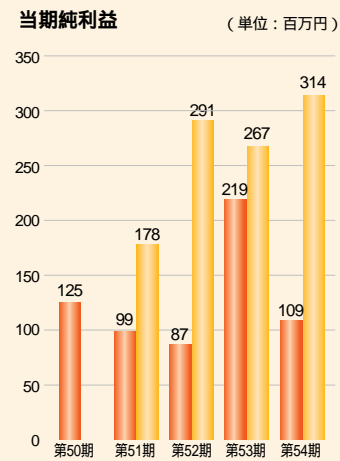
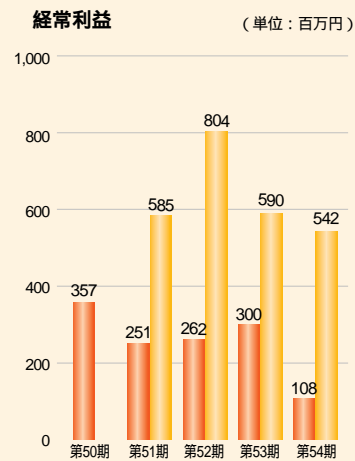
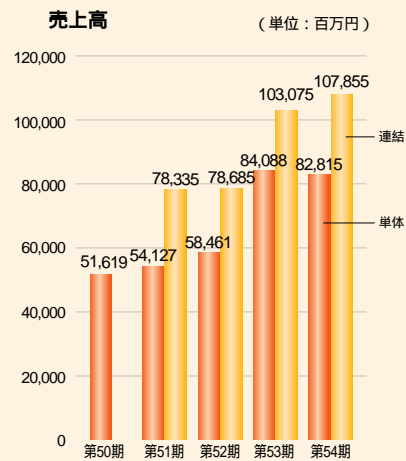
Q 木徳神糧では人財についてどのように考えていますか？

A 当社グループでは、従業員一人ひとりの力が、さらなる成長をめざしていく上での重要な源泉になると考え、専門性の高い優秀な人材育成に努めております。そのためには、従業員が木徳神糧で働くことを誇りとし、プロフェッショナルとしての力が存分に発揮できる、公平な人事制度の構築が必要

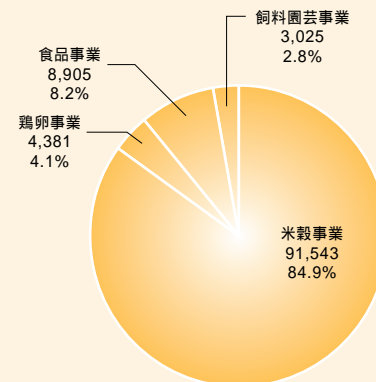
となります。既に、国際的視点から業務推進のできる従業員を育成すべく、海外留学制度を導入したのをはじめ、従業員持ち株制度などを採用してきました。当期は、成果主義の導入、組織のフラット化を目的とする組織変更を行いました。

FINANCIAL HIGH LIGHT

財務ハイライト



連結売上高構成比 (当期 単位: 百万円)



平成12年10月1日(第53期期首)に、木徳株式会社は、神糧物産株式会社と合併し、木徳神糧株式会社となりました。

区 分	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
売上高(百万円)	51,619	78,335 54,127	78,685 58,461	103,075 84,088	107,855 82,815
経常利益(百万円)	357	585 251	804 262	590 300	542 108
当期純利益(百万円)	125	178 99	291 87	267 219	314 109
株主資本(百万円)	2,971	3,367 3,016	3,661 3,065	5,887 5,246	5,916 5,070
総資産(百万円)	13,300	19,458 13,696	22,222 16,411	33,108 27,473	32,893 24,861

6 上段は連結、下段は単体を示しております。

事業の概況

① 米穀事業部門

当連結会計年度では、作況指数「103」と「過剰基調」は続きましたが、政府、全農による価格維持政策により、自主流通米価格は前年比横這いで推移したため、上半期は計画外流通米の出回り量が多く、当社グループが主に取り扱う自主流通米玄米の取引が低調に終わりました。精米は順調に伸長し、なかでも無洗米はテレビコマーシャルの実施もあり大幅に数量が増加いたしました。また、長野県米穀卸株式会社及び木徳東海株式会社の精米製造を中止し、桶川精米工場及び本牧精米工場に集中させ、当社グループとしての生産効率の向上を確立しております。米の付加価値商品として開発した健康志向の「もみ発芽玄米」、「パーフェクトライス」、医療食用の「低タンパク米」の販売を開始しております。いずれも市場のニーズにマッチし、順調に推移しております。また、備前食糧株式会社(岡山県邑久郡邑久町)の株式を追加取得し、新たに連結子会社にしております。なお、これにより同社との合弁会社株式会社木徳備前岡山ライスセンターは、当連結会計年度末において解散決議をいたしました。このような中、外国産の輸入米の容器鉛汚染事件等による販売差損等やテレビコマーシャル等の広告宣伝費の増加もありましたが、米穀事業の当連結会計年度における売上高は91,543百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は1,197百万円(同4.8%増)となりました。

② 鶏卵事業部門

当連結会計年度における鶏卵価格相場は、一昨年来の生産増から昨年比約15%低迷いたしました。その結果、「食べる健康卵」など特殊卵の取り扱いが増加しましたが、普通卵は低調に終わり、売上高は4,381百万円(同2.8%減)、営業利益は87百万円(同23.0%減)となりました。

③ 食品事業部門

当連結会計年度における当社グループの食品事業の主力商品である鶏肉は、上半期においてBSE(牛海綿状脳症、狂牛病)の影響を受けて代替需要が発生し、相場は堅調に推移しました。しかし下半期では、牛肉、並びに鶏肉の産地表示違反事件発生の結果、消費者の食品に対する信頼感は完全に喪失し、販売面でさらなる価格競争を引き起こし、利益を圧迫しました。このような厳しい環境の中、当連結会計年度における売上高は8,905百万円(同3.8%減)、営業利益は430百万円(同39.5%減)となりました。

④ 飼料園芸事業部門

飼料市場は昨年9月にBSE(牛海綿状脳症、狂牛病)が発生し、その後の畜産物偽装問題などから、飼料需要量の減少傾向が進みましたが、当部門の積極的な販売活動により米糠、脱脂糠など糟糠類飼料の動きは堅調に推移しました。園芸部門は個人消費の低迷が続く厳しい環境の中で、物流費の低減に注力しました。このような状況下、事業部門全体の売上高は3,025百万円(同2.3%減)、営業利益は112百万円(同19.5%増)となりました。

FINANCIAL DATA

連結貸借対照表

科目	期別	(単位：千円)	
		当期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成13年9月30日現在)
資産の部			
流動資産		19,628,151	21,396,599
現金及び預金		4,348,144	4,604,310
受取手形及び売掛金		9,189,903	9,898,516
有価証券		-	5,990
たな卸資産		3,980,711	4,457,448
繰延税金資産		93,661	84,184
未収入金		1,606,132	2,158,249
その他		544,931	275,762
貸倒引当金		135,334	87,862
固定資産		13,265,427	11,711,655
(有形固定資産)		(10,237,638)	(8,464,896)
建物及び構築物		3,686,573	2,974,821
機械装置及び運搬具		1,939,601	1,993,114
土地		4,127,822	3,219,000
建設仮勘定		367,562	166,616
その他		116,079	111,343
(無形固定資産)		(172,247)	(195,855)
ソフトウェア		116,602	131,189
その他		55,644	64,665
(投資その他の資産)		(2,855,541)	(3,050,903)
投資有価証券		1,286,557	1,562,470
長期貸付金		96,619	116,868
長期前払費用		77,233	62,581
繰延税金資産		79,265	26,192
その他		1,397,355	1,458,716
貸倒引当金		81,489	175,924
資産合計		32,893,578	33,108,255

(注) 連結財務諸表規則の改正により、当期から資本の部の表示方法を変更しております。
なお、前期についても変更後の表示区分に組替えております。

科目	期別	(単位：千円)	
		当期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成13年9月30日現在)
負債の部			
流動負債		17,174,041	18,109,111
支払手形及び買掛金		3,158,233	3,847,798
短期借入金		9,229,218	11,237,959
一年内返済予定長期借入金		3,068,986	1,418,153
未払法人税等		126,536	187,276
繰延税金負債		149	-
賞与引当金		197,548	240,341
その他		1,393,368	1,177,583
固定負債		9,311,488	8,746,000
社債		1,000,000	500,000
長期借入金		7,720,118	7,149,933
繰延税金負債		246,799	340,059
退職給付引当金		28,249	431,300
役員退職給与引当金		175,596	194,595
連結調整勘定		55,245	8,424
その他		85,479	121,689
負債合計		26,485,529	26,855,112
少数株主持分			
少数株主持分		491,971	366,057
資本の部			
資本金		529,500	529,500
資本剰余金		331,500	331,500
利益剰余金		4,857,894	4,664,601
その他有価証券評価差額金		216,450	379,333
為替換算調整勘定		13,573	14,513
自己株式		5,693	3,335
資本合計		5,916,077	5,887,085
負債、少数株主持分及び資本合計		32,893,578	33,108,255

連結損益計算書

科目	期別	(単位：千円)	
		当期 (自平成13年10月1日 至平成14年9月30日)	前期 (自平成12年10月1日 至平成13年9月30日)
売上高		107,855,516	103,075,304
売上原価		99,382,676	94,598,320
売上総利益		8,472,839	8,476,984
販売費及び一般管理費		7,833,535	7,693,304
営業利益		639,304	783,679
営業外収益		334,771	251,959
受取利息		11,645	15,302
受取配当金		85,238	14,036
不動産賃貸収入		103,813	117,810
為替差益		20,835	-
連結調整勘定償却額		8,627	-
その他		104,612	104,810
営業外費用		431,488	445,613
支払利息		329,428	317,688
持分法による投資損失		279	293
不動産賃貸費用		75,435	74,906
新株発行費		-	12,136
社債発行費		12,750	-
その他		13,594	40,589
経常利益		542,587	590,024
特別利益		463,263	947,256
固定資産売却益		229,176	900,528
投資有価証券売却益		215,660	8,885
関係会社株式売却益		275	11,539
貸倒引当金戻入益		6,784	22,819
その他		11,365	3,484
特別損失		479,735	832,675
役員退職慰労金		-	123,570
固定資産売却損		18,306	34,473
固定資産除却損		156,700	38,241
投資有価証券売却損		752	17,704
投資有価証券評価損		41,100	12,804
ゴルフ会員権等評価損		-	67,850
貸倒引当金繰入額		51,217	176,090
退職給付会計基準変更時差異処理額		-	243,514
合併に伴う費用		-	45,225
退職金制度廃止に伴う精算費用		145,686	-
その他		65,969	73,199
税金等調整前当期純利益		526,115	704,605
法人税、住民税及び事業税		230,055	323,669
法人税等調整額		38,787	114,849
少数株主損益		20,024	1,405
当期純利益		314,822	267,492

FINANCIAL DATA

連結剰余金計算書

科 目	期 別	(単位：千円)	
		当 期 自 平成13年10月1日 至 平成14年9月30日	前 期 自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日
連結剰余金期首残高		-	3,241,702
連結剰余金増加高		-	1,226,200
合併に伴う剰余金増加高		-	1,226,200
連結剰余金減少高		-	70,793
配当金		-	39,600
役員賞与		-	31,193
(うち監査役賞与)		(-)	(1,000)
当期純利益		-	267,492
連結剰余金期末残高		-	4,664,601
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高		331,500	-
資本剰余金期末残高		331,500	-
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高		4,664,601	-
利益剰余金増加高		314,822	-
当期純利益		314,822	-
利益剰余金減少高		121,530	-
配当金		117,155	-
役員賞与		4,374	-
(うち監査役賞与)		(-)	(-)
利益剰余金期末残高		4,857,894	-

(注) 連結財務諸表規則の改正により、当期から連結剰余金計算書の表示方法を変更しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	(単位：千円)	
		当 期 自 平成13年10月1日 至 平成14年9月30日	前 期 自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,210,806	3,634,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,066,944	15,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,351,833	2,897,901
現金及び現金同等物に係る換算差額		2,139	7,285
現金及び現金同等物の増減額(減少：)		205,831	744,923
現金及び現金同等物の期首残高		4,536,703	3,969,841
合併による現金及び現金同等物の増加額		-	1,311,785
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		68,178	-
現金及び現金同等物の期末残高		4,262,692	4,536,703

重要な子会社等の状況

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
木徳九州株式会社	100,000千円	100%	米穀搗精販売業
木徳滋賀株式会社	95,000千円	100%	米穀搗精販売業
キトクフーズ株式会社	75,000千円	100%	食品製造販売業
株式会社あじとき	210,000千円	100%	惣菜店のFC本部
株式会社ライスピア	50,000千円	100%	米穀搗精加工販売業及び食品製造販売業
キトク・アメリカ社	200,000US\$	100%	米穀輸出版販売業
内外食品株式会社	160,000千円	72%	畜産物加工販売業
アジメックス・キトク社	716,000US\$	67%	米穀搗精販売業
備前食糧株式会社	98,000千円	46%	米穀搗精販売業

(注) 1. 株式会社クックマンは、平成14年7月11日よりキトクフーズ株式(株)に社名変更しております。
 2. 木徳東海株式(株)は、平成14年9月20日付にて清算終了しております。
 3. 株式会社木徳備前岡山ライセンセンターは、平成14年9月末日で解散しております。
 4. 長野県米穀卸株式(株)は、米穀事業からの撤退により、当期末において重要な子会社から除外しております。
 5. 株式会社あじときは、平成14年5月29日に増資をしております。
 6. 備前食糧株式(株)は、実質的に支配しているため、重要な子会社に含めております。

単独財務諸表

貸借対照表(要旨)

科 目	期 別	(単位：千円)	
		第 54 期 (平成14年9月30日現在)	第 53 期 (平成13年9月30日現在)
流動資産		13,978,447	16,851,711
固定資産		10,883,346	10,621,351
(有形固定資産)		(7,412,350)	(6,684,341)
(無形固定資産)		(103,447)	(141,762)
(投資等)		(3,367,548)	(3,795,247)
資産合計		24,861,793	27,473,062
流動負債		11,972,987	14,606,489
固定負債		7,817,998	7,620,160
負債合計		19,790,985	22,226,649
資本金		-	529,500
法定準備金		-	437,125
剰余金		-	3,901,952
(内当期利益)		(-)	(219,186)
その他有価証券評価差額金		-	377,835
資本金		529,500	-
資本剰余金		331,500	-
利益剰余金		3,999,559	-
(内当期利益)		(109,137)	(-)
株式等評価差額金		215,942	-
自己株式		5,693	-
資本合計		5,070,808	5,246,412
負債及び資本合計		24,861,793	27,473,062

(注) 商法施行規則の改正により、当期から資本の部の表示方法を変更しております。

損益計算書(要旨)

科 目	期 別	(単位：千円)	
		第 54 期 (平成14年9月30日)	第 53 期 (平成13年9月30日)
経常損益の部			
営業損益の部			
営業収益		82,815,171	84,088,643
営業費用		82,667,445	83,653,638
営業利益		147,726	435,004
営業外損益の部			
営業外収益		381,309	324,631
営業外費用		420,160	459,558
経常利益		108,875	300,077
特別損益の部			
特別利益		440,902	867,147
特別損失		399,670	740,406
税引前当期利益		150,106	426,818
法人税、住民税及び事業税		1,555	109,347
法人税等調整額		39,413	98,284
当期利益		109,137	219,186
前期繰越利益		69,476	63,112
合併引継未処分利益		-	55,945
中間配当額		31,941	-
当期末処分利益		146,673	338,244

利益処分

(単位：円)	
科 目	金 額
当期末処分利益	146,673,047
別途積立金取崩額	50,000,000
固定資産圧縮積立金取崩額	19,963,557
圧縮特別勘定積立金取崩額	388,821,239
計	605,457,843
これを次のとおり処分します	
利益配当金	31,930,830
(1株につき3円75銭)	
固定資産圧縮積立金	388,821,235
圧縮特別勘定積立金	101,093,388
次期繰越利益	83,612,390

(注) 固定資産圧縮積立金及び圧縮特別勘定積立金の取崩額及び繰入額は、租税特別措置法に基づくものであります。

株式の状況 (平成14年9月30日現在)

(1) 会社が発行する株式の総数	30,000,000株
(2) 発行済株式の総数	8,530,000株
(3) 株主数	833名
(4) 大株主	

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
木村謙三	405千株	4.8%	-千株	-%
木村初子	351	4.1	-	-
木徳神糧従業員持株会	337	4.0	-	-
木村良	294	3.4	-	-
木村不動産株式会社	270	3.2	-	-
株式会社東京三菱銀行	240	2.8	-	-
稲垣辰彌	225	2.6	-	-
濱田精麥株式会社	218	2.5	-	-
水野正夫	206	2.4	-	-
木村徳兵衛	205	2.4	-	-

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 議決権比率は、小数点第2位を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成14年9月30日現在)

商号 木徳神糧株式会社
 事業内容 米穀事業、海外事業、食品事業、飼料園芸事業
 本社所在地 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー14階
 TEL 03-5479-7111(代表) FAX 03-5479-6999
 資本金 5億2,950万円
 従業員数 187名(男性149名、女性38名)

役員 (平成14年12月25日現在)

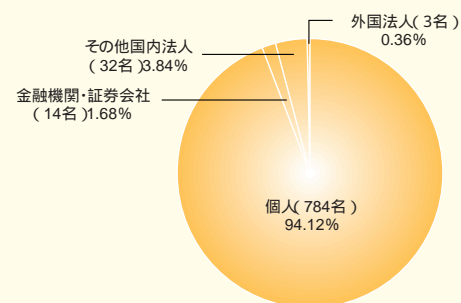
代表取締役社長	木村良	取締役	天川誠
専務取締役	釜谷弘	取締役	松山正吉
常務取締役	足立英夫	取締役	平山惇
常務取締役	木村友二郎	取締役	稲垣辰彌
常務取締役	水野正夫	常勤監査役	土田秀三
取締役	志村安彦	監査役	大川孝之
取締役	山本幸雄	監査役	中島淳

事業所一覧 (平成14年9月30日現在)

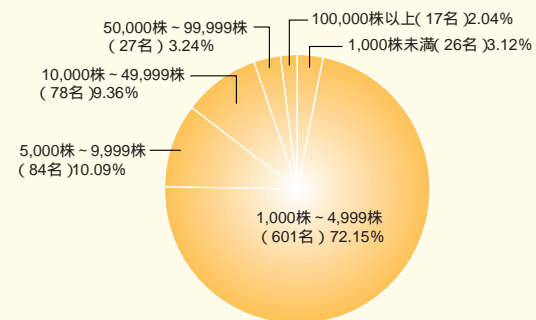
本店	東京都中央区銀座
本社	東京都品川区東品川
首都圏営業部	横浜市西区浅間町
桶川精米工場	埼玉県桶川市
本牧精米工場	横浜市中区かもめ町
鶏卵部	茨城県猿島郡猿島町



株式の所有者別分布状況



株式の所有数別分布状況



株主優待のお知らせ

毎年3月31日および9月30日現在における1,000株以上保有の株主及び実質株主の皆さまに対し、当社の米穀製品を年2回贈呈いたします。
 3月31日現在の株主の皆さまには一律2,000円相当。
 9月30日現在の株主の皆さまには一律3,000円相当。

*平成14年9月30日現在の株主の皆さまには、「米浪漫」1.5kg入り3袋を贈呈いたしました。

